

中部シニアライフアドバイザー協会

SLA通信

第102号

会長 畑島美奈子

温暖化のせいか季節の境目が曖昧に感じられ、気が付けば12月も半ば。それでも師走と気づいたとたん、追い立てられる気がしてくるのは不思議です。

新型コロナが5類に移行され、少しずつ活気が戻っているように思えますが、私たち高齢者にとっての自粛を強いられた3年は大きく、取り戻しようもありません。

とはいえ、何とか元気を取り戻していきたいと、4年ぶりのセミナーを開催することとなりました。

テーマは「AI」。連日のようにマスコミに登場していた「チャットGTP」を始めとする様々な対話型AIや医療や介護の現場での活用。今や「AI」は私たちの周りの様々なところで生活をサポートしてくれてはいるようです。半面、活用についての議論もあちらこちらでされています。規制の方法や範囲も問題になっているようです。身近なようでわかりにくい「AI」とはいったいどのようなものなのでしょうか。これからの私たちの生活にどのようにかかわってくるのでしょうか。

セミナーを通して考えていきたいと思っております。

チラシを同封いたしました。ぜひ、周りの方に参加の呼びかけをお願いしてください。

以下は「チャットGTP」にセミナーへのお誘い文作成を依頼した質問の回答です。

【持ち物：筆記用具と興味津々な気持ち！】

未来の技術を知り、理解することで、より豊かな生活が待っています。ぜひ、お気軽にご参加いただき、一緒にAIの世界を探索しましょう！お会いできることを楽しみにしています。

【新年会のお知らせ】

恒例となっております会員の皆様の初顔合わせの新年会を下記のように開催いたします。

美味しい食事をいただきながら楽しいひと時を過ごしたいと思っています。

- 日 時： 2024年1月27日（土） 11：30～15：30（退室）
- 場 所： 今池ガス燈（今池ガスビル8F）  
千種区今池1-8-8 Tel052-732-2944
- 行 き 方： 地下鉄東山線、桜通線「今池駅」⑩番直結
- 会 費： 5500円
- 申し込み先： 宮地祥子 E-Mail pure-sachiko@aiores.ocn.r  
携帯 090-8957-7231
- 締め切り： 1月20日（土）



素敵な景品も用意しています。

## 《これまでの報告》

### 【第3回語ろう会】

8月23日(水) 13:30~イーブルなごや中会議室

「なんでもあり」の逆さ読みが研究所の名前になっている「りあもでんな」代表岡久美子さんのお話をお聞きしました。

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるためにまずはボランティア活動を通し地域に溶け込み情報収集しその現場で課題を見つける。多岐に亘る活動を通してそこから仕組み創り、制度創りにつなげていく。そして必要を感じる度に学びを重ね深め続けていく。どの活動も奥深い知識と実践に裏付けされたものばかりです。

- ① 女性が女性だからという理由で可能性を閉じない社会づくり⇒介護は社会で担う
- ② 医療における事前指示書の普及
- ③ 終活(Advance Care Planning 人生会議等々)

この機会に、もしもの時に備え延命処置などリビングウィルについて家族とも話し合うことが必要であると強く感じました。(宮地)

### 【幹事会報告】

7月定例会	8月開催「語ろう会」について・30周年記念行事について
8月定例会	セミナー開催の日程等・30周年記念行事について
9月定例会	セミナー企画案及び会場について・30周年記念行事及び今後のSLAについて
10月定例会	セミナー企画案の練り直し・拡大会議実施・30周年記念行事
11月定例会	新年会実施・通信102号発行の確認・30周年記念行事と今後のSLAについて

### 【拡大会議報告】

日時：11月22日(水) 10:00~

出席：地域部会代表・研修部会・PC部会代表・幹事・監査 11名

議題：①各部会報告

②今後のSLA活動について

30周年記念事業についてはバス旅行等の案も出ていたが記念パーティーを開催する案が提出され、すでに退会された会員にも案内を出てはどうかなど活発な意見が出された。また、来年度の総会の中で今後の活動についての様々な問題点を話し合うことに決定された。

## 地域部会

### 《名北部会》

日時：9月28日(金)

場所：徳川園ガーデンレストラン「徳川園」

ほぼフルメンバーの4名のスケジュール調整に時間がかかり6月の予定がこの日になってしまいました。毎回のことながら顔を合わせたたん口々に「これで全員?!」盛会だったころとは違い「そうなんです。全員で4人です」そんな話をしつつ美味しい食事をいただきました。午後は美術館で開催されていた「江戸の風俗画」展を鑑賞いたしました。 畑島美奈子

### 《名東部会》

少数の部員ではありますが、お互いに個々の活動や体調の変化に思いを寄せ、電話やメールなどで近況を連絡しあい繋がりはかわりません。ただ今もって会食や小旅行を楽しむ活動はできてなく今後の楽しみにいたします。[スクエアステップの会は多数のイベントを開催中] 黒須由紀子

## 《第 26 回名南部会》

・日時：令和 5 年 9 月 12 日(火) ・場所：ノリタケの森見学と食事会 ・参加人数：5 名  
ノリタケの森に到着し、まず、「クラフトセンター」に行きました。

ちょうど、社会見学で訪れていた小学生の子供たちと一緒に、熱心に学習する姿を見ながら、私たちもボーンチャイナの生地製造工程を見学しました。

続いて、「ノリタケミュージアム」に移動し、ノリタケの名品の数々を鑑賞しました。写真は、代表的なディナー皿が 200 枚展示されているところで撮った集合写真です。昼食は、レストラン「キルン」でランチコースをいただきました。全員で乾杯の後、ノリタケの食器を使用した創作フレンチを食べながら話が弾みました。

食後は、隣接するイオンモールを覗いたり、もう一度、ノリタケの森を散策したりする人もいて、楽しい一日を過ごすことができました。



高武知子

## 《三河部会》 7 月研修会報告 “梅雨の晴れ間にて・・・”

柴田芳則

7 月 3 日(月)に、例のごとく名ドライバーの山口さん(豊田) 同乗者の上野さん(西尾) & 柴田(岡崎) の 3 名が名鉄東岡崎駅に集合しました。梅雨時とは思えないほどの晴天でした。

快調に走って浜松西インターで深津さん(浜松・愛妻の見送り) も合流して全員が集合しました。予定通りに「百合の花&紫陽花の花の可睡斎」でした。

ところがどっこい!! ・今年は開花が早くてどちらも終わっていました。可睡斎の長い階段の前で再協議でした。小生は前々日に岡崎市民会館で転倒して(地下のトイレが点灯しなくて・・・) 長い石段は登れないので、門前の茶店にて“可睡斎の縁起”についてレクチャーを受けました。

長い石段を上った所には、藤棚のように無数の色とりどりの「風鈴が下げられて少しの風にもチロリン・チロリンと軽い音色を立てて」出迎えてくれたそうです。

「可睡斎」・「油山寺」・「法多山」の遠州参寺参りは後日に延期しました。“どうする家康” に困んで・小っちゃい天守閣で有名な「掛川城」に行きました。平成に 140 年ぶりに改築された「木造の天守閣」(名古屋は揉めてる)の城です。



話はまだまだ続きますが紙面僅か。「これにて・ゴメン」(ウドちゃん風)・楽しい研修ツアーでした。

## 《尾張部会》

日時：11 月 9 日(木) ・場所：碧南市醸造文化と大浜てらまち散策 ・参加人数：4 名

コロナ禍が思ったより長く続き、また尾張部会を長く引っ張って頂いた浅野さんが亡くなったりして、しばらく途切れたが今回は白井さんに計画から段取り全部して頂いた。

碧南市は初めての人が多く、名鉄か JR で行くかで迷い、朝からハプニング続出。電車の中で偶然白井さんの高校の同窓会の皆さんと会い、たまたま同じ場所へ行くとのことだった。

「大浜まちかどサロン」で落ち合い、地元のボランティアの方に案内してもらった。今年は大河ドラマでの家康がらみの場所が多く、「本能寺の変」で明智光秀の追っ手を逃れ、「伊賀越え」をし、伊勢から海路この地で上陸した。曾祖父の信忠が創建した大浜稻荷社、家康の幼名「竹千代」命名の寺など、小さい町にしては立派な寺や神社が多かった。

昼は有名な九重味醂のレストランで「みりん角煮御膳」をおいしくいただいた。

天気にも恵まれ、すばらしい一日だった。



井出勝男

## このゆびとまれ (第14回) 《定光寺で秋のピザパーティーとトンネル散策》

日時：2023年10月11日(水) 参加者：9名

昨年はピザ窯の前にテーブルを置き露天で行ったが、今年は東屋で囲炉裏を囲んでワイワイやった。加藤さんが、玄人はだしの腕を揮い絶品のブタ汁を造ってくれ、皆で舌鼓を打つ。ピザは出来合いの生地にも皆で思い思いのトッピングを楽しみ、子供のようにはしゃいでいた。その他焼きイモなど、腹一杯になり大満足！

まだ紅葉には程遠かったが、美しい自然の中で良い天気にも恵まれ素晴らしい一日を楽しむことが出来た。

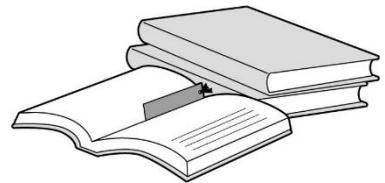


## 会 員 便 り

### シニアライフアドバイザーとしての活動

杉浦玲子

女性のお稽古ごと、茶華道、料理、習字等々 公務員で働きながら齧っておりました。近くに、勤労婦人センターができ、勉強の場として新しい時代を生きるために必要と感じ、何となくいろいろの講座を受講していました。社会保険労務士の受験講座もあり、資格も取ることが出来ました。新年金制度も整備されてきて、金融機関では、年金相談が行われ、活躍の場があたえられてきました。そんな折、新聞広告で、シニアライフアドバイザーの民間資格の講座広告が目につき、肩書に魅力を感じました。世の中、高齢者が増え生き方を、工夫しなければならないとの自覚もありました。30年前のことです。



大学の先輩が社会保険労務士事務所を経営し活躍していらっしゃる姿を拝見し、夫が税理士事務所を経営していましたので、新年金制度を掘り下げて勉強することも、必要と感じ、公務員を退職し、社会保険労務士事務所として、開業しました。従業員を採用し、今日に至っております。

コロナ時代に、夫の介護に専念し3年間、業務を離れました。夫亡き後、介護の重要性も痛感しております。シニアの総合的な相談に係われる。シニアライフアドバイザーの資格と、名称が生きています。

88歳を迎え傍ら、お茶のお稽古も続けております。今日は、米寿の茶会を開催し、亭主を務めました。傘寿、喜寿、古希、華甲と、お仲間がそろい、生きてきた幸せを感じております。

生涯現役… を目指してまいりたいと思っております。

名簿順に原稿をお願いしています。次回は畑島美奈子さんをお願いします。

☆春3月木村利行さんが逝去されました。木村さんは第2期生であり、協会の運営に副会長としてご尽力いただきました。また、名南部会を立ち上げその運営にも力を注いでくださいました。病のため退会とはなりましたが、常に協会に思いを寄せているとお聞きしました。ご冥福をお祈り申し上げます。

☆総会2部において「名古屋市生涯学習センターとの協働講座」について来年度は中止したいと提案しましたが協会外の活動としての大切さを考え実施することとなりました。港生涯学習センターにて6月開催いたします。生田ふみ・大歳篁子・加藤昂治・宮地祥子・畑島美奈子が担当いたします。

1年があっという間に過ぎていくような気がします。

朝型夜型が加齢につれて朝方に移行する。そして加齢に伴い身体機能の大部分のメトロノームがスローダウンにすることにより、それとの対比関係で外界の時間経過を早く感じるようになる。ある本に書いてありました。そうなんだと妙に納得しながらも慌ただしく過ごしています。 畑島記